

八王子市市民活動支援センター

平成28年度事業計画

八王子市市民活動支援センター
センター長 大山健三

○支援センター事業基本方針

世界に例を見ない少子多老化が進行する中、これから想定される社会環境の変化は、これまでの行政サービスや社会システムだけでは充分ではなく、多様なセクターが連携、協働することが求められています。介護保険法の改正をきっかけに八王子でも、地域を包括的に支援する仕組みの構築が検討されていますが、このことは、介護にかかわる課題解決だけではなく、人の誕生から看取りまで社会のあらゆる過程、分野で多様な人々や組織の関わりが必要とされるということだと認識しています。そしてそこには、様々な分野で、社会課題に取り組んでいるNPO、市民活動への期待とともに、そうした活動に具体的な社会的成果を生み出すことが求められています。

八王子市市民活動支援センターは、社会貢献、地域活動の担い手である市民の方々の地域への参加意欲のきっかけづくりや団体活動の基盤強化そして継続性、信頼性をサポートする様々な事業をとおして、今年度も引続き自立した市民力、地域力向上のお手伝いをしていきます。

○重点目標

- (1)蓄積したコーディネート機能やノウハウを活かし、社会ニーズに対応できるサポート事業を実施します。
- (2)市民、NPO、地縁組織、大学、企業、行政等多様なセクターとの協働・連携を図り、地域を包括的に支える環境づくりに努めます。
- (3)八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」の利用を促進し、地域力、市民力向上のお手伝いをします。
- (4)NPO活動の基盤強化や信頼性向上を目的とした「NPOパワーアップ講座」を継続し、また地域資源(物、人財、資金等)の有効活用による「ゆめおりファンド」事業で「人財」支援をスタートし、NPOを社会が支える環境づくりを目指します。
- (5)モニタリングや定期的アンケート、調査研究結果を活かし、社会的ニーズを把握した事業を提供します。
- (6)四半期ごとに開催する「企画運営会議」により、指定管理者として事業遂行の検証を行います。
- (7)毎年度末に、当該年度事業を「評価」と「課題」で検証し、次年度事業計画に反映します。
- (8)スタッフの教育研修により人材育成に努めるとともに、各事業に多様な意見を取り入れるため外部スタッフの参加を積極的に推進します。
- (9)支援センター施設利用者の利用満足度の向上と安心安全の維持に努めます。
- (10)業務の改善と効率的運営で経費の節減に努めます。

1. 企画運営会議

四半期毎に1回、企画運営会議を開催し、効果的な事業推進を討議し、市民活動を取り巻くニーズに対応した中長期的、未来志向で支援センターの運営に取り組みます。

2. 情報セキュリティ委員会

個人や団体の情報を預かる支援センターはその情報の保護管理に大きな責任があるとの認識から、支援センター個人情報保護方針に基づき、情報セキュリティ委員会を定期的開催します。また、毎年、監査人による監査で適正な情報管理のチェックを受けると共に、スタッフを対象にした教育研修会を実施し、法令及び支援センター情報セキュリティ管理マニュアル等の遵守を徹底します。

3. 八王子市環境マネジメントシステム(LAS-E)への対応

八王子市が取り組んでいる八王子市環境マネジメントシステム(LAS-E第3ステージ=市民・事業者やパートナーシップ組織による環境保全活動)に基づき、多様な団体の連携、協働のきっかけづくりを行います。

4. 相談事業

相談業務は相談者に寄り添い、受け止めることをモットーにスタッフ全員で対応します。相談対応は様々な知識、経験、コーディネート能力が求められるため、外部研修への積極的な参加、多様な団体との交流を通しスタッフのレベル向上に努めます。また、専門相談はNPO 経営支援アドバイザー派遣制度の活用や専門機関との提携により、会計、財務、労務、税務等の専門的な相談に対応します。

5. NPOの基盤強化支援の充実

団体の基盤強化、信頼性の向上は、市民活動が活性化し、社会的認知を高めて行くためには避けて通れないものであることから、その自立支援を強化します。具体的には団体運営の基本(ミッション、運営、情報発信、会計等)である実務能力向上に向けた講座の充実やファンド事業での「物」と「人財」による支援で団体の立ち上げ、運営をサポートします。

6. 新規事業への取り組み

効果的な事業サービスを目指し、新たにファンド事業での「人財」支援、「はちコミねっと」サイト運営など、これまで蓄積してきたノウハウを活かした事業を実施します。また、単に事業を広げるだけでなく、これまでの事業の見直しや改善も検討しながら社会ニーズに対応できる新規事業への取り組みを検討します。

7. 調査・研究

利用者のニーズと期待に対応したサービスを提供するため、開催する各講座の「参加者アンケート」、「市民満足度調査」、27年度実施した「市民活動実態調査」等の結果を集計、分析し、具体的事業の効果的実施に役立てます。

8. 施設運営管理及び施設の安全、危機管理体制

恒常的な施設利用満足度の向上を目的に、清掃、照明、空調などの利用環境の適正管理に努めると共に、引き続き「サポハチガーデン」を市民や団体が打合せや情報収集、交流や作業の場として予約なしで利用できるフリースペースとして提供します。また、不特定多数の市民や団体の方々にご利用頂いていることから、ビル管理会社と連携し、消防法に定められた自衛消防訓練への参加や防火上必要な教育研修等への参加、緊急連絡網の整備により、危機管理能力を高め施設利用者の安全安心の確保に努めます。

9. モニタリング制度への取り組み

指定管理施設に対する八王子市のモニタリングへの対応について、指定管理業務の遂行はもとより、その他、独自の年度計画事業の効果的推進により、利用者評価に耐えうる施設運営、サービス提供に務めます。また、評価結果を真摯に受け止め、スタッフで共有し、市民サービスの向上、施設運営管理に反映させます。

10. 総務部計画

- (1)平成28年度事業報告書作成
- (2)平成29年度事業計画書、予算計画書作成
- (3)平成27年度センター事業報告書作成
- (4)八王子市市民活動推進部協働推進課との連携・情報交換
- (5)施設管理
 - ①施設、付帯設備、物品の管理・整備
 - ②会議室、パソコン、プロジェクター等の貸出予約受付、利用記録の管理
- (6)経理処理
給与計算、会計管理、支払業務、物品購入
- (7)センター会議の円滑な運営
- (8)指定管理者モニタリングへの適切な対応
- (9)「地域参加支援に関する情報交換会」への参加
- (10)「6市・市民活動連絡会」への参加
- (11)NPO 経営支援アドバイザー派遣制度や専門機関との提携による専門相談対応
- (12)支援センター内各部との連携・情報交換
 - ①各部の事業計画推進を側面支援、アドバイス
 - ②各部会への参加
- (13)大学インターンシップ制度への協力
- (14)市内中学校職場体験への協力
- (15)支援センター視察・見学訪問者の受け入れ
- (16)日勤、夜勤、サポートスタッフの職務確認
- (17)各団体、関係先講座、委員会等への講師派遣
- (18)市民活動フェスティバルの開催
- (19)スタッフ研修の企画、実施
- (20)多様なイベントへ支援センターブースの出展

11. 広報部計画

- (1)紙面装丁の改善
手にとって読んでいただける紙面づくりを目指します。
- (2)掲載記事(1～2面)
市民・市民活動団体が地域の課題を自分のこととして受け止め、地域を支える担い手として参加、

行動するきっかけづくりとなる紙面を作成します。

(3) 多様な視点、意見を反映した広報紙とするため外部サポートスタッフに参加してもらいます。

(4) 多摩信用金庫の「たまらび」八王子号の製作プロジェクトに参加するなど、外部との関係性を高めることで、スキルアップや連携を進めます。

(5) アンケートの実施

1月の広報紙発送に合わせ、広報紙に関するアンケートを実施し、読者のニーズや意見を紙面づくりに活かします。

12. 啓発部計画

啓発事業では、NPO、市民活動を知っていただき、市民の方々に地域参加のきっかけの場を提供するとともに、NPO、市民活動団体の運営基盤強化のための講座やイベントを提供することによって団体の信頼性の向上や、継続的活動をサポートします。今年度は特に、多様な分野で地域を包括的に支えるシステムの構築が求められており、地域のコミュニティづくり、居場所づくりをテーマに事業を企画します。

(1) アクティブ市民塾

アクティブ市民塾は、支援センター開設以来、NPO、市民活動団体を紹介するイベントとして毎月1回開催してきましたが、これを今年度より、隔月ごとの開催とし、これまでより準備に時間を割き、テーマやターゲット、チラシを団体と十分話し合い、魅力ある講座で発信力や集客を高めていきたいと考えています。具体的には、参加団体のニーズに基づき、会員募集、サポーター募集、活動の周知等の目的に合わせた内容を企画していきます。

(2) 市民活動支援講座

1) NPO パワーアップ講座

団体が実務能力を向上することで、その運営基盤を強化し、信頼性の向上や、継続的活動につながることを狙いとして開催しています。引き続き、パワーアップ講座を継続的な講座として確立するとともに、積極的に受講し、講座の成果をしっかりと団体に持ち帰っていただくため、連続講座を基本としながら、単発でも参加できるようにします。プログラムとして、まず参加者を募るキックオフイベントを行い、多くの団体に参加していただくきっかけの場とし、2回目以降、一つ一つの講座が充実し、講師、受講者の満足度が向上する、魅力的なものとなる内容とします。そして多様な受講者を想定し、土曜日の午後を中心に月1回/全7回開催予定です。

2) NPO 交流会

交流会は、今年度、テーマを「地域コミュニティづくり」とし、その地域で活動をしている様々なNPOとそれを取り巻く市民の方、町会自治会等に集まっていただき、子どもから高齢者まで生き生きと暮らせる地域のためにNPOができることを考えていきます。

3) NPO めぐりツアー

交流会で取り上げた「地域コミュニティづくり」のテーマと連動し、居場所づくりに取り組んでいる世田谷区の事例を見学に行く予定です。一般社団法人世田谷トラストまちづくりは、空き家や空き室を地域の居場所として活用する「地域共生のいえ」事業を行っています。その事業について伺い、実際に現地を訪問する予定です。

(3) 市民活動実践講座

1) スキルアップ講座

スキルアップ講座は、団体、市民を対象に、NPO、市民活動に関する法や制度、課題、現況や新しい活動の情報提供など「NPO パワーアップ講座」と視点を変えた企画で、団体の活動スキルの向上と市民の方々の一歩進んだ NPO 活動への興味をサポートします。

13. 情報部計画

(1) 支援センターホームページの維持・更新

- 1) 支援センターのホームページに随時、支援センター業務、支援センター主催イベント・講座の告知、活動レポート、広報紙「サポート 802」および事業計画書、報告書、実施アンケート結果等をアップし、市民や市民活動団体への情報発信を行います。
- 2) サーバーの維持管理（レンタルサーバー＆ドメイン維持費）
- 3) レンタルサーバーの移行の検討

(2) ホームページの改造

平成 27 年度に、「はちコミねっと」と既存ホームページとの基本的な棲み分けは実施できましたが、今年度、機能棲み分けをさらに明確化し、支援センター事業の紹介を中心に変更し、支援センターの独自性を発信できるサイトを目指します。また、デザインの変更も検討します。

(3) 「はちコミねっと」の活性化

「はちコミねっと」は市民投稿型のコンテンツサイトであり、その活性化には多くのコンテンツが常時アップロードされ、団体や市民に有益なサイトと認識されることが必須の条件であることから、積極的な利用促進策を実施する必要があるため、今年度次の各種施策を実施します。

- 1) 「はちコミねっと」の適切な運用管理
- 2) 利用問い合わせへの迅速、適切な対応
- 3) 団体向け定期操作法講習会の実施 年 12 回
- 4) 「はちコミねっと」の活性化施策検討会を運営管理者（八王子市、テンプスタッフ、支援センター）で開催。
- 5) 広報活動（チラシの発行等）

(4) 情報セキュリティの適切な管理

個人情報保護方針や情報セキュリティマニュアルに基づき適切な管理を行い、八王子市のセキュリティ監査や外部委託監査の指摘、指導等に適切に対応します。

14. ファンド部計画

(1) 物品の支援

団体活動をサポートするため、寄付物品による「物」の支援を継続するため、団体ニーズ調査を目的に団体訪問を行うとともに、企業訪問により寄付元企業の開拓を進めます。

(2) 人財の支援

ファンド事業の新たなサポート手段に「人財」を追加し、団体活動の基盤強化のお手伝いを開始します。手法として、個人人財による対応のほか、プロボノ的要素を取り入れたチームによる伴走支援を

視野に入れ、現役世代の「人財」にも広く参加を求め、多様な「人財」での活動支援に取り組みます。「人財」支援開始を広く団体関係者、地域「人財」に周知し、効果的な事業とするために、市民活動の必要性や「人財」の有効活用をテーマに講演会やワークショップを予定しています。

(3)その他

ファンド事業を効果的に推進するために、ゆめおりファンド認証作業の実施、規定・基準・帳票類の再整備やファンド事業紹介パンフレットの作成、「人財」支援チラシの作成等を行います。

以 上